活躍する卒業生

子どもと共に暮らして、見えてきたこと
ー「子どもをみる」ことを問い続けてー

＊卒業生講師（宗實直樹さん・16期）のご紹介



【略歴】

兵庫教育大学で美術を専攻

卒業後、姫路市の公立小学校に勤務し、2015年より関西学院初等部に勤務

2023年に兵庫教育大学大学院学校教育研究科を修了（修士(教育学)）

2026年4月より桃山学院大学人間教育学部准教授

【当日の概要】

子どもと共に暮らし、授業をつくってきた日々を、子どもとの出会いや具体的な実践を手がかりに振り返ります。教師として「何をしたいか」を考えていた自分が、子どもは今、何を感じ、何を考えているのだろうと、その姿を探るようになるまでには、失敗や反省の繰り返しがありました。見えていると思っていたのに、何も見えていなかったと気づかされたこともあります。

「子どもの眼と心を育てること」と「子どもの眼と心が育つこと」。その違いを考えながら、子ども観や授業観がどのように変わってきたのか、また、実践の中で生まれた問いが現在の研究にどうつながっているのかをお話しします。当日は講演を中心に進めながら、途中で参加者の皆さんにもご自身の経験を振り返っていただき、子どもを「みる」とはどういうことかを共に考える時間を設けたいと思います。